

主 文

本件上告を棄却する。

当審における訴訟費用は被告人の負担とする。

理 由

被告人本人及び弁護士古関三郎の各上告趣意について。

所論は、何れも刑訴四〇五条に定めている上告理由に当たらないから、採ることを得ない。

よつて同四一四条、三八六条一項、一八一条に従い主文のとおり決定する。

この決定は裁判官全員の一致した意見である。

昭和二六年三月八日

最高裁判所第一小法廷

| | | | |
|--------|---|---|-------|
| 裁判長裁判官 | 眞 | 野 | 毅 |
| 裁判官 | 澤 | 田 | 竹 治 郎 |
| 裁判官 | 齋 | 藤 | 悠 輔 |
| 裁判官 | 岩 | 松 | 三 郎 |